

教育研究部の取り組み

1 役割

学習支援と学力保障に向けて模索し、教員や本校生徒に役立つ事柄を提案する。

2 組織

可能な限り各学年3名ずつで構成し、うち1名ずつが学年団の副担任の会の運営にあたる。

3 主な業務

(1)学習支援業務

○「総合的な探究の時間」…本校での呼称は「学び方探究(略称:学探)」

- ・生徒一人一人が自身の進路を考え、卒業後の研究につながる論文を個人で作成、ICT機器を活用して発表する。
- ・社会人基礎力の育成を視野に入れ、外部講師も招聘しながら本校での学びを豊かにする。

○図書館教育

- ・「学探」やLHR等の機会をとらえ、読書指導、リサーチ指導をする。

○国際理解教育

- ・国際理解弁論大会、エッセイコンテスト、交流プログラム等について周知・指導する。

○外部講師による指導

- ・ACEプログラム(Academic-Content English Program)
県国際交流員や英語圏出身者による講演会、語学・文学講座を、すべて英語で実施する。
- ・県のキャリア教育事業(プロを講師とした授業)等を活用し、県内外で活躍する講師による講演会や討論会を実施する。

○巡回カードによる欠点者指導

(2)調査業務

○授業アンケート

○学校評価(生徒・保護者・教員)アンケート

○各種意識調査:「新入生進路意識調査」、「学習状況調査(スマホ実態調査)」

(3)研究業務

○学習指導支援研究

- ・課題研究について…「研究とは何か」、「研究方法」を蓄積し指導に生かす。
- ・各種調査結果を基に学習指導方法の改善に役立つ事柄を提案する。
- ・大学や各種団体との連携、先進校の取り組みを参考にして生徒に役立つ事柄を提案する。
- ・県教委、各校等主催の発表会に参加し、最新の情報を収集する。